

## 新闻话语 《美国次级房贷（サブプライムローン）与全球金融海啸》

连日来，有关股票市场的消息吸引着人们的注意，报章杂志的标题，都离不开金融海啸、严重萧条等字眼。当今世界、当下日本到底发生了什么事？这些事情又会给我们的生活带来怎样的影响呢？

这一连串的动荡，都起源于2007年发生在美国的次级房贷危机。所谓房贷，是指购房时向银行融资所借出来的钱，“プライム”意即“优良”，“サブ”则意味着“次级”。也就是说，所谓“次级房贷”，是指那些被认为收入较少，“低于优良水准”的人在买房时的贷款。由于收入低，因此贷款时银行所设定的利息就比较高。你也许会想，银行把巨款借给收入低的人们，可要是借钱的人没有能力偿还，那银行不就亏了吗？所谓天机，就暗藏在这里。美国在很长一段时间里，都处于景气绝佳的状态，房地产价格也不断地攀升。因此即便融资者无法偿还贷款，但只要买下的房子升值，那么将房子卖掉还债即可。美国的按揭贷款公司就是这样，将巨款源源不断地借贷了将出去。据计借贷次级房贷的人数超过了600万，而贷出的款额达到了150万亿日元。然而最大的问题还在其后。那就是，次级房贷摇身变成了证券（即贷出人的债权证明），在证券公司及银行被买来卖去。也就是说，一纸借据变成了高风险、高回报的商品，在金融市场上流通起来。而次级房贷这一金融商品的购买者，正是美国及欧洲等国家的大国际证券公司和银行。

那么，后来怎样了呢？在美国，由于房屋建得过多，从而引发了房价下跌。而房价一跌就跌到了房贷按揭价之下，这使得次级房贷证券很难回收本钱及利息。全世界都在传说，设计次级房贷的人，事先是知道这一后果的，因此他们在一定期限内捞足了想捞的油水以后，便将借据转换成证券，拉全世界来帮他们分担

## ニュースのことば「サブプライムローンと世界同時不況」

連日のように株価のニュースが世間の耳目を集め、金融危機、大不況といった言葉が新聞の見出しに並ぶ。一体いま世界で、日本で何が起っているのだろうか。それは私たちの暮らしにどのような影響を及ぼすのだろうか。

一連の騒動のはじまりは、2007年アメリカで起きたサブプライムローンの破綻だった。ローンとは住宅を買うときに借りるお金のことで、プライムは「優良の」、サブは「次」という意味だ。つまりサブプライムローンとは、「優良より次のレベル」と見なされた、収入が少ない人が住宅購入のために借りるお金のことだ。信用が低いからその分利息が高く設定されている。返済が困難な場合に大金を貸して商売になるのかという話だが、ここにマジックがある。アメリカは長い間好景気が続き、家や土地など不動産価格の上昇が続いた。ローンを返せなくなっても、住宅が値上がりしていれば、家を売って借金を返せばいい。そうやってローン会社はどんどんお金を貸し続けた。サブプライムローンを利用した人は600万人を超え、金額は150兆円に上ったという。最大の問題はその先にある。サブプライムローンが証券（お金を返してもらう権利を証明する文書）になって、証券会社や銀行などに売りさばかれたことだ。つまり借金の証文がハイリスク、ハイリターンの商品になって、流通しはじめたのだ。サブプライムローン証券を買った人の中には、アメリカやヨーロッパなど世界的な証券会社や銀行等が名を連ねる。

さて、その後どうなったか。アメリカでは、住宅を作りすぎた結果、住宅価格が下がり始める。たちまちローン金額より住宅価格の

风险、做垫背，而自己却逃之夭夭。

持有这些很难进行回收的次级房贷证券的公司及银行，因无法将证券卖出去，从而被套住。有多少坏死的金融商品，就意味着多少经济损失。为了弥补损失，持有者只好不断地抛售手头的股票。其间也不乏抛尽股票却无法回天，最终走向破产的例子。美国大型投资银行——雷曼兄弟的破产，便源于此。而美国股市也因此出现了二十一年以来的第一次暴跌，同时引发了金融危机（指银行停止向外贷款）。由于没有人知道持有次级房贷的公司到底损失了多少，这些公司接下来会不会倒闭，因此这种疑神疑鬼的恐慌气氛，酿成了此次金融海啸的背景。在美国，金融海啸又导致企业经营危机相继表面化，众多的公司、企业开始裁员或减薪，进而打击着消费者的消费信心。源于美国的这一金融海啸，迅速波及到了全世界。虽说日本次级房贷的持有率比欧洲低，可是由于国外的大股东大量抛售手头的日本股，因此造成股市一会儿大跌一会儿回升的情形不断。另外，一些人认为美元将会出现贬值，于是抛售美元，同时购进经济状况好于欧洲的日元，致使日元升值。要是这种美元贬值、日元升值的情形继续下去的话，日本的产品在国外便会出现滞销，日本作为出口大国，将遭受重创。而在此之前，由于美国的消费信心转差，依赖出口的日本企业收益不佳，这一结果已经开始威胁到日本企业员工的生存。

面对此次被认为是百年不遇的全球经济危机，我们将如何应对呢？下面为您介绍经济学家提供给我们两点建议：

1. 最好是尽可能不按揭房贷或车贷等高额贷款。景气不好的情况下，偿还贷款是一种很大的负担。万一由于减薪而造成收入减少，便有可能因为要还债而使家庭生计走进死胡同。
2. 少支出钱财、多储蓄现金  
作为家中顶梁柱的人自然不用说，其他的

ほうが安くなって、サブプライムローン証券は元本や利息の回収が困難になっていった。サブプライムローンを設定した人たちは、この結末を知っており、だからこそ、儲けられる間に儲けて、後は証券に換えて、そのリスクを世界中に分散させて逃げたのだという批判が、いま世界で囁かれているという。

この回収困難なサブプライムローン証券を保有する会社や銀行は、売ることもできず、手元に抱えなくてはならなくなった。劣化した売れない商品は持ち主の損失となる。そこで、損失を穴埋めするために保有している株券を次々と売る。それでも持ちこたえられず廃業に追い込まれるケースがある。アメリカの大手証券会社リーマンブラザーズの経営破綻がそれだ。アメリカではこれを機に21年ぶりに株価が急落し、金融危機（銀行等から資金を借りることができなくなる状況）が起きた。金融危機の背景には、サブプライムローン証券を抱える会社が一体どのくらいの損害を受けたのかわからないため、次に倒産するのはどこか、疑心暗鬼が起きている事情がある。アメリカでは、金融危機をきっかけに、企業の経営危機が相次いで表面化し、幅広い業種でリストラや賞金カットが行われ、消費者の購買意欲も冷え込む一方だ。アメリカの危機は世界に波及した。日本のサブプライムローン証券の保有率は欧米と比べれば少ないといわれているが、外国の大口投資家が持っている日本の株を大量に売ったため、株の価格が大きく下がったかと思うと、また上がるといった状況が続いている。一方、アメリカのドルの価値が下がるといった人たちが、ドルを売って、欧米ほど経済の状況が悪くない日本の円を購入したため、円の価値が上が

人要是有机会的话，无论零工还是小时工，都出去做一些为好，并将现金储存起来。即使没有现金收入，从减少支出的意义上说，租一块地来种菜植果，也是一个很好的办法。

关于上述2中所提及的租地种菜，我们获悉有些地区的地方政府免费租给市民公有地。另外，近年来在阳台上种菜的人也不断增多（有些公寓禁止这种行为，敬请注意），从最近发生的食品安全问题着眼，这也可以说是一举两得呀。

无论怎样，我们这些平民百姓可以做的事情是极其有限的。现下，我们只能多多关心、照顾自己以及家人的健康，不忘未雨绸缪，以迎接那看不到尽头的严冬。（H）



った。<sup>えんたか やす すす</sup>円高ドル安が進めば、<sup>かいがい もの</sup>海外で物が売れなくなり、<sup>ゆしゅつこく</sup>輸出国の日本は大きな痛手を受ける。それでなくても、アメリカの消費が冷え込んでいるため、輸出に頼る日本企業は<sup>たよ</sup>収益が悪化し、<sup>しゅうえき あっか はたら ひと</sup>働く人たちにも影響がはじまっている。

100年に一度ともいわれる世界同時不況が進行する中、私たちは、<sup>いちど</sup>どんな備えをすればいいのだろう。経済の<sup>しんこう</sup>専門家たちの言葉から次の2点をご<sup>せんもんか</sup>紹介しよう。

1. 住宅ローンや<sup>くるま</sup>車のローンなど、大きな借金はできれば避けたほうがいいという。不<sup>けいぎ</sup>景気の中での返済は負担感が大きい。万一賃金カットなどで収入が減ったら、借金を背負って家計が立ち行かなくなる恐れさえある。

## 2. 支出を抑え、現金を蓄える

家族の中で、<sup>かぞく</sup>大黒柱として働いている人はもちろん、他の人もチャンスがあれば、パート、アルバイトを問わずできる仕事をして、現金を蓄えておく。現金収入ではなくても、<sup>ししゅつ</sup>支出を減らすという意味で、<sup>いみ はたけ</sup>畑を借りて野菜作りを試してみるのもいい。

2の畑づくりについては、自治体が、<sup>しちたい</sup>所有する土地を市民に<sup>しゆゆ</sup>無料で貸与している所もあると聞く。最近ではベランダでの菜園づくりも増えているらしい。（ベランダ<sup>えんげい</sup>園芸を<sup>きんし</sup>禁止する<sup>あぱーと</sup>アパートもあるので<sup>ちゆうい</sup>注意が必要）。<sup>いっ</sup>昨今の食の安全問題を考えれば<sup>いっ</sup>一挙<sup>きよりょうとく</sup>両得ではないか。

いずれにしろ、<sup>しよみん</sup>庶民にできることには<sup>かぎ</sup>限りがある。いまは<sup>ただ</sup>只、自分や<sup>けんこう</sup>家族の健康に<sup>き</sup>気を配りながら、<sup>おこた</sup>万一の備えを<sup>お</sup>怠らず、いつ終わるとも<sup>し</sup>知れない<sup>げんかん</sup>厳寒の冬に立ち向かって<sup>ふゆ</sup>いっただけだ。（H）